

都内初！防災無線をメール配信

杉並区では、5月19日から、これまでの「災害・防災情報メール」の機能を強化します。新たに配信する情報は、区内124カ所から災害時などで放送される防災行政無線情報で区民からの「聞こえない」「聞き取りにくい」といった声に対応する都内初の取り組みです。

杉並区では、災害に備え、地域の小中学校や区立施設など124カ所に防災行政無線の放送塔を設置し、主に台風や集中豪雨などへの注意や避難所の開設情報を伝えています。しかし、マンションなど高気密住宅の増加によって、放送内容が聞き取りにくいといった声が多くなっています。特に、水防に関連する放送は、雨模様の中で行われることが多く、聞こえにくい条件がさらに加わってしまいます。

一方、杉並区でも少子高齢化が進み、平成27年5月1日現在の人口551,287人に対し、世帯数は308,372世帯、一世帯あたり1.79人という状況です。こうした中で、高齢者のみの世帯や障害者のみの世帯など、いわゆる災害弱者世帯が多くなっています。

災害の発生時に、まず必要なものは正しい情報です。正しい情報があつてこそ、次の行動が可能になります。防災行政無線は、昭和56年1月に整備・開局されました。整備・開局当初は、大きな効果があり、まちの安全・安心に役立ってきました。

しかし、防災無線を中心とした情報伝達に加え、新たな手段を取り入れることが必要となっています。

そこで、明日5月19日（火曜日）から、現在1.5万人ほどが登録している「杉並区災害・防災情報メール」に、都内初となる防災行政無線から放送する内容をメールで配信する新サービスを追加します。登録は、区のホームページから行うことができ、区民だけでなく、どなたでもメールを受け取ることができます。また、このメールサービスでは、気象警報や注意報、地震の発生情報なども併せて配信します。今回新たなサービスの追加提供をきっかけに、より多くの方に登録いただき、地域の安全・安心を高めたいと考えています。



杉並区「災害・防災情報メール」

★防災行政無線塔から放送された内容をメールでもお届けする新サービスを追加しました。

★杉並区では、「電子メール」で、次の注意喚起情報を配信いたします★
また、防災行政無線塔から放送された内容を「電子メール」で配信する新サービスを追加しました。
※注：緊急地震速報及び気象情報に関する情報は、防災行政無線などについては、避難者対応からの「緊急連絡メール（ニアメール）」により配信されます。

こちらは、「防災」ではありません。ただ今メール配信の、防災行政無線の放送した内容を配信いたします。→防災行政無線からの放送は、聞こえにくい場合があります。また、雨模様の中での放送は、聞こえにくい場合があります。→防災行政無線からの放送は、聞こえにくい場合があります。→防災行政無線からの放送は、聞こえにくい場合があります。

水害 では…

- 杉並区で「大雨・洪水注意報、警報」が発表されたとき
- 杉並区内の「河川」が警戒水位を超過したとき
- 杉並区内の「雨量」が基準値を超過したとき

地震 では…

- 杉並区で震度3以上の地震が発生したとき
- 東京都区内で震度3以上の地震が発生したとき
- 国内で震度4以上の地震が発生したとき

※その他、気象庁（毎週金曜日）や防災上重要と認められる情報

事前に、登録が必要です。

杉並区公式ホームページ
モバイル版QRコード

<登録方法> <http://www.city.suginami.tokyo.jp/mobile/>
の「防災情報」から登録してください。
※防災メール配信情報の設定をされている方は、登録する前に
[suginami@bousai-mail.jp]からのメール受信が可能なように設定を行ってください。

杉並区危機管理室防災課
電話：03(3312)2111（代表）

【問い合わせ先】

危機管理室防災課：03-3312-2111 内線3601